

第一回感染症対策オンラインセミナー ～宿泊施設における対策留意点～

【三河先生講話】：

ご紹介いただきました、山梨県立中央病院の三河と申します。
お忙しい中ご参加ありがとうございます。
病院より、許可をもらい、本日参加している。
仕事は、部下が代わりにしてくれている。

本日は、時間があまりないので
コロナウイルスの基本というよりか、
どのように意識して対策をすればいいかの注意点を中心にお話します。

ご存じの通り、新型コロナウイルス感染症の原因のウイルスとなる
SARS-COV-2 というウイルスは

- ・飛沫
- ・接触感染

の2つがメインとされ、
特に接触感染より、飛沫感染の比率が大きい。
感染拡大に起用している。

WHO が空気感染もするのでは？と話していたが

現在のところは、空気感染対策はあまり考えなくてよい。

ただし、飛沫というが・・・私たちが咳やくしゃみをして、飛ぶのが
約1メートルから2メートルをいわれますが、もっと飛ぶのでは？という感覚でいたほう
がよい。

それから、

- ・人と人の距離(1メートル以上)
- ・マスク
- ・フェイスシールド

の3つが重要となる。

この3つは、たくさんの研究で、感染率を下げるということがわかっている。

下げるというのは、ゼロにはなりませんが・・・

おそらく、一つ一つの守備が5分の1程度となると考える。

基本は、マスク着用・距離・フェイスシールドで顔を守ることで感染症のリスクを減らす
ことができる。

次に、意識していただきたいのは、人がいる場所の空間。

狭い場所に人がいればいるほど、時間が長ければ長いほど感染リスクが上がっていきます。露天風呂などのオープンスペースは、感染の確立が下がるがサウナのような密室は感染の確立が上がると考える。

例えば、食事をする会場が広ければ広いほど感染リスクは下がるが、人が増えるほど密度が高くなるほど、リスクは上がります。

空間が閉じているのか、空いているのかも意識するとよい。

もう一つは集団

家族という一つの集団があったときに元々、一緒に生活しているのでリスクは均等です。

質問の一つにもあったが、家族が車で山梨県にきて、宿泊すると考えると

4人で山梨にきて、4人の家族の1人1人の空間を開ける必要があるかということ・・・

一緒に生活しているので、その家族の中で空間を設けても感染のリスクはあまり変わらない。

例えば、

- ・別の家族同士が食事会場に集まり、一緒に食事をとる
- ・子供20人バスで移動

集団が家族とまた別の家族など、一緒に生活していない同士の集団が交わると感染リスクが上がると考えてほしい。

以上、装備・感染経路・空間・集団の考え方についてお話しした。

違う集団が同じホテルにきて(一棟の中の別の場所にいるのはいいが)同じ空間に別の集団が一度に集まる場所が、感染のリスクが上がると思っていたきたい。

一つの家族で旅行することに感染の拡大があるかということ、そのリスクは低い。

例えば、その低いリスクが0.1パーセントと考える、それが10人100人1000人10000人と増えれば、感染のリスクは上がる。

感染症の専門医としては、観光で人の移動が増えることが良いとは思わないが、一方で山梨県は観光県で観光は大切な産業で、私もこの周辺を車で散策するが、石和・湯村・富士五湖も北杜市もどこもかしこも、皆さんが一生懸命、安心してお仕事ができるようにサポートしていきたいと考える。

真面目に話しているが、真面目キャラではないので質問をいただきたい。

12:57～

【事前質問事項へのお答え】

○質問1

同じグループ内での食事での場合でも間隔を空けてとの推奨だが、現地までの移動時点

(車) で " 密 " でありその必要性はあるのか？

- A. 先ほどもお話した通り、一家族であれば家でも車でも同じ空間で生活しているので旅館などで食事をするときだけ「距離を開けてください」というのは違うでしょう。一方で、一家族が2つ3つ4つと同じ空間に集まっていくとリスクが上がる。この集団自体は、距離を開ける必要がある。

○質問2

バイキング形式の食事を提供しております。お客様にはマスクの着用を、スタッフはマスクと手袋、料理担当者はキャップを着用し、フロアスタッフはマスクと手袋で食事の提供をしておりますが更にスタッフのフェイスガードは必要でしょうか？

- A. お客様が席を立たれるときは、マスクをされると良いでしょう。スタッフが、マスクをすることはとても良いが、手袋をすることに注意が必要でおそらくする必要はない。
- なぜなら、プラスチック手袋の入っている箱をみんなが触れる。たとえるなら・・・ソファーのてすり、エレベーターのスイッチ、トイレのドアノブ等、公頻の接触面(みんなが触るところ)ですので、手袋は入り口からすでに汚染されている。ですから、手袋をスタッフが着用して食事をサーブ(提供)することは、汚染された手袋で提供することになり、自分の体を守れてもいず、感染症を防ぐことにもなっていません。従って、こちらの質問のバイキング形式の食事を提供するフロアスタッフが手袋をしている状況ですが、マスクは着用したほうが良いが手袋はやめるほうが良い。
- 手袋ではなくて手洗いをして、手をきれいに保てば結構。
- もし、フロアスタッフがお客様の近くにおいて、長時間話をする状況があれば・・・そのスタッフはフェイスシールドを使用すると良い。
- ウイルスが体内に入るのは、口・鼻・目の粘膜ですので、顔全体を覆うフェイスシールドとマスクのセットは最も強力な感染防備対策です。
- ただ、バイキング形式でフロアスタッフとお客様で15分以上の会話をすると、考えづらいので、少し想像でお話すると・・・
- 宴会の会場で、女将さんやスタッフさんが食事のサーブやお酒を作り提供をする場面があるならば、長時間接することになる。お客様は、食事の際にマスクを着用していないので、そういった状況は、フェイスシールドをつける場面となります。

○質問3

料理は全て蓋付き容器とスタッフの盛り付け手渡しとしておりますが、他に対策がございましたらお願い致します

- A. 特別、他に追加したほうがいいかなということは思いつかないが、感染対策は、2点考
える必要がある。
安全と安心です。
安全対策と安心対策は別物。
安全対策は・・・科学的根拠に基づいた対策をとること。
安心対策は・・・必ずしも科学的根拠に基づかないこともある。
例えば、この場合はお客様に食事を盛り付けて渡すということですが、盛り付け前やス
タッフさんがフロアに入ってくる前に“手洗いや”“アルコールで手指消毒・衛生”を
おこなっている姿をみせるというのが“安心対策”となるでしょう。
(お客さまへの感染症対策にはならない)
ことあるごとに手指衛生をしていることをみせることによりお客さんの安心につなが
ります。

○チャット質問

団体での食事の密が、問題ないとすれば・・・バスで一緒に来た方々が一緒に寝るのも問
題がないか？

- A. バスツアーであれば、まったく異なる生活環境から 20 人の方々が集まれば感染リスク
が非常に高くなる。温床です。
当然、バス内でも距離を開けなければならない。マスクも着用。
つまり、いつも一緒に生活している家族が一つのバンに乗るのと、様々なところから来
た人たちが大きなバスの乗るのでは、感染拡大の規リスクが異なる。
という話でいけば、バスに乗り集団で来られる方々は、感染リスクが高いので距離が必
要。
この人たちが食事をする際も、同じバスできたから良いという話ではなく、いつも同じ
ように生活している人たちではないわけですので、無尽や会社の研修、バスツアーなど
の場合は、バス内や食事の際も当然、分けないとならない。
できるだけ距離を開けて、バラバラのほうが感染リスクが下がります。
もしかして、ご質問の内容は学校の修学旅行などを想定しているか。
というのは、集団の方々がバスで来て、同じ場所で食事や睡眠をとるとなると、何とな
く修学旅行のイメージが想像できる。

○質問 4

レストラン(個別食)のテーブル間隔をソーシャルディスタンスで2m程に取ってあります。
窓を開けて換気を行っておりますが満席となる場合が発生しておりますが満席は絶対回

避した方が良いのでしょうか？

- A. まず、レストランのテーブル感覚を2メートルほど開けてあること、窓を開け換気をしているのも、とても良い対策。
- 満席を回避したほうが良いかということだが、満席がいけないわけでない。
- ようは、先ほども申し上げたように一つのグループと一つのグループ同士の距離がきちんと開けられるか、ということです。
- 例えば、大きな部屋に2メートル間隔おいたところに、たくさんの人が入っていても、距離が保たれ、換気がきちんとなされていれば満席でも良い。
- 一方で、ある空間にたくさんの異なる集団が入っていることが感染リスクになる。
- つまり、距離(2メートル)をとっても絶対に感染しないという話ではない。
- 365日誰とも会わなければ感染は、絶対しないといえるが、そうはいかない。
- それから、換気をしているといっても、換気効率を考えるとその換気が絶対に有効かわからない。
- 程度の差があり、難しいが・・・
- 満席を避けたほうが良いということではなく、やはり、たくさんの人がある空間にいること事態が危険で、感染リスクが上がる。
- 逆に申し上げますと、満席でもあまり密でなければ良いのではないかと。(程度の問題ですが)

○質問5

宿泊施設ですが、お客様、旅行代理店の方々からの不安払拭に向けての良い方法があったらご教示ください。

- A. 先ほど申し上げた、安心安全のための対策のうち“安全のための対策”ということになるでしょう。
- お客様や旅行代理店の方々の不安が何かを明確にするほうがよい。
- 不安は、曖昧なもの。その不安がホテル側がおこなう対策により、払拭できるものかで変わる。
- 一般論で申し上げますと、山梨県でいう“グリーン認証”や手洗いの話もしたが、実際に“見える”取り組みを見せる。
- 例えば、私たちの施設では〇〇を行い、感染対策に努めておりますなど、HPに掲示やホテルの職員が感染対策をおこなっていることを見せることで安心材料になる。

○質問6

宿泊者の中で、滞在中に感染症を疑わしき症状がある場合、PCR検査を受けていただ

いた場合、電車など公共機関の交通網をご利用のお客様は、PCR 検査機関まで どのよ
うな方法で移動するのがベストでしょうか？

A. 非常に良い質問。

お客様が、電車・バスなどの公共交通機関を利用したならば、自家用車で病院には行け
ない。

通常、この方の具合が悪ければ手段は3つある。

1. 救急車を呼ぶ
2. タクシーを呼ぶ
3. お宿が運ぶ

2,3 は事前の契約の話な気がする。

つまり、お宿のほうで感染対策をしいているバンなどがあるのであれば、それを使用。

お宿のバンなどの交通手段を準備できない場合は、タクシー会社さん(アクリルシート
などで対策されている)があれば、依頼をすることになる。

現実的には、各施設で感染対策を用いた車で運ぶほうが私は良いと考える。

そのためのノウハウは今、ここで話すと長くなるのでお話しませんが、どこかでお答え
します。

○質問 7

民宿の家族風呂(循環式)の注意点教えてください。

A. 特になし。家族風呂の対策は必要なし。しいて言うと、脱衣所があるならば一家族毎
に1回1回拭いて差し上げればよいでしょう。

循環式でコロナウイルス感染症のリスクにはなりません。

通常通りの対策をとればよいでしょう。

○質問 8

浴場内にサウナがあるのですが、座席や床のマットの交換頻度や、感染症対策について伺
いたいです。

A. サウナは密。それ自体がリスクとなる。

マスクも着用できない。高温なので、ウイルスが死滅しそうの気がします

60度で1時間殺菌すればウイルスが死ぬが、サウナの熱や湿度が高いから絶対に安全
とは言えないが通常よりかは、ウイルスの活性は落ちる。

座席や床のマットの交換頻度は、そんなの必要ない。

先ほど申し上げた通り、接触頻度が多いものではないので精々、1日1回や通常の交換

頻度で良いでしょう。

しいて感染症対策を言うならば、体調不良の方はサウナに入らないでくださいとアナウンスするのがもっとも。

○質問 9

寝具本体（布団カバーではなく、羽毛布団や枕）の感染症対策はどのようにすればよいのか？

A. 特に必要ない。

枕カバーや布団カバーなどは、洗えます。布団などは、感染者かわからない方が使用したものは特に対策は必要ない。

感染者が使用していたことがわかったら、後で対応する。

通常通りに洗ったり、干したりしてください。

○質問 10

空気感染するのでしょうか？

A. 今のところ、空気感染するという断言はしていませんが、すごくよく飛ぶ、広がる飛沫感染という感覚が良いかと思います。

空気感染する結核やはしかに比べれば、再生産数(1人の人が何人かにうつす)が非常に低い。麻疹の場合、1人がうつす確率は16(免疫がない人に)で、コロナの場合は、1.7~2位です。

○質問 11

お客様退出時の承諾方法など教えてください。

A. 使用した施設をアルコールか次亜塩素酸で拭けばよい。

たくさん触るところを拭く。それ以外の対策は、特別に必要ありません。

みんなが触るところ以外や床面などもしょっちゅう消毒する必要がない。

○チャット質問

先ほどのビュッフェスタイルでの対応の中で、県のグリーン認証に関する規定について、対策が厳しすぎるのでは？

A. 私は、グリーンゾーン認証の対策について、ここまでの必要があるのか？と言った

側の人間です。

しかし、その後、専門家が何かのところで・・・東京都か国がこうしろと言っていた気がするということで、入った情報な気がします。

私の立場では、グリーンゾーン認証のところに記載があれば、このようにするしかない
としか言えない。やらなくていいですよとは、言えませんので・・・
過剰かどうかはわかりませんが、私自身の感覚としては、ビュッフェスタイルに何故、
このようにこだわるのか疑問に思いました。

○質問 12

緊急時の避難・待機場所として、宿泊施設を提供した場合、客室を利用できず、大広間などで避難していただく際の注意点や感染症対策はどのようにすればよいか？

A. 後ほど、食事の会場に行くのでそこでお話します。

○質問 13

症状がない陽性宿泊者が ご利用当日発症した場合、感染原は当宿利用前と考えるのが妥当かと。こういう場合 やはりこちらの名前が出てしまうのでしょうか？

A. 情報共有に関しましては、山梨県で対応を決めている。

感染患者が情報の共有をしても良いと承諾するかしないかで変わる。

関係各所には、大体は事前の確認を入れて、お名前を出すか出さないかを決めている。

情報の共有には深く関わっておりませんが、目の前で繰り返されているので、何となくそう思います。

確かに、おっしゃる通り、感染した場所がそのホテルでなくてもホテルの名前が出てしまうのは少し、おかしいかなと思う。

その場合は、ホテル側は、その旨を伝えていただいたほうが良いかと思います。

○質問 14

弊社は小さい売店があるが、レジ場がないため、マスクをし、品渡し前にアルコール消毒をして対面で応対している程度である。滞在時間は最大10分程度のため、お客様に感染させてしまうリスクは少ないのではと考えているが、対策として十分なのか不安である。感染症対策と、対策へのお客様の受け取り方（失礼な印象にならないか）のバランスが難しいと感じている。

A. こういった場合は、実際に現場、現場でアドバイスできる内容が少し違う。

こちらのホテルにも売店があるので、そちらでお話します。

○質問 15

お客様との接触に関して、どのくらい対策をするべきか知りたいです。例えば、ペンの使いまわしや座っていた椅子の消毒など、どのくらいの頻度で行えばコロナ対策をしっかりとっていると判断していただけるのでしょうか。

A. 安心の問題。

正直、ペンの使いまわしで感染は考えにくい。

ペンに触れて、その後に手指消毒をすればよい。ペンを消毒したり、新しいものに変えるという手もあるが、みんなが使用したものに触れたら手を洗うのが基本です。

外から帰ったら手を洗う、子供たちに関しては、うんてい・鉄棒などで遊んだ場合、手を洗う。

使いまわしが悪いのではなく、それに触れた後に手指衛生ができるような場面があるかどうかという考え方もあると思います。

座った椅子の消毒も必ずしも、行う必要があるかというところ・・・

そこに感染者がいたことがわかっているならば、する必要があるが・・・

そうでもないときに必死に拭く必要は本来はない。

これは、安全の問題です。

安心の面から言うと、お店やホテルなどで使用した椅子などを拭く場面を見たら、お客様は安心する。

質問の最後にもあるが、コロナ対策をしっかりとっていることの判断は、県のことを言っているのか、お客さんのことを言っているのか、私たち医者から見てよくわかりませんが・・・コロナ対策は、安全面でいけば具合が悪い人が職場にこないとか、マスクをしているだとか、感染対策上で感染を拡大させないためというよりは、安心の面の方が大きくなってきます。

なので、様々のところをみても、皆さん対策をとられていますので、細かいところまで気にしすぎると疲れますので一番大切なのは、人との接触をどのようにするか、マスクを着用しているか、体調不良の人が職場に来ていないか・・・というところを重視すること。

○チャット質問

団体の家族でないお客様の寝具の距離はどのくらいとればよいのか？

A. 寝具の距離・・・寝ている最中はマスクしませんし、上を向いて真っ直ぐに眠れるかわかりませんので、2メートルが安全。

先日、ある営業所を見に行った際は、仮眠室にベッドがものすごく近い距離においてあって、ビニールシートが間にあるところがあった。

しかし、仮眠室でのコロナウイルスの感染が少し広がった。

要は、寝る部屋というのは・・・山梨は暑いのでクーラーをつけて閉め切らないと眠れないので、換気が悪い状況で眠ることになります。

この場合は、距離はできるだけ開けるほうが良いでしょう。

○チャット質問

手すりの消毒はいかがでしょうか？

A. 手すりは、高頻の接触面ということで消毒は必要だと思います。

消毒をものすごくおこなえば、感染リスクが下がるかという・・・

そもそも、どのホテルでもコロナウイルスが手すりに引っ付く可能性は極めて低い。

例えば、コロナウイルスの患者さんが入院している部屋の手すりは絶対に危険ですが、そこを消毒している回数は1日に2回です。

では、コロナウイルスに感染している人がほとんどいないと思われる宿舎やホテルで、1日2回以上の消毒は必要ないと私は思う。

1日1回が精々です。

○チャット質問

オゾン層発生器、紫外線滅菌機などのお部屋消毒は有効でしょうか？

A. まず、ウイルスは有機物(汚れ)にくっつきます。

例えば、アルコールも次亜塩素酸、次亜塩素水も有機物があると消毒効果が落ちます。

オゾン発生装置の消毒効果は、不明。

おそらく、ウイルスをある特定の条件下で殺せるんですが、ホテルの部屋等で発揮できるかといえば、そのような科学的根拠はない。

紫外線発生装置も同じです。紫外線発生装置は、病院のICU(集中治療室)みたいなところのバイ菌対策で機械を置きませんかという機械が売られていますが、1台3000万円します。オゾン発生器と紫外線発生装置は、安心対策であり、安全を担保するものではない。効果は立証されていない。

ただし、それが置いてあったり、使用していることを公表することで利用者さんの安心につながる可能性はあります。

医者としては、進めません。

○チャット質問

手すりなどの消毒で、ピューラックスやハイター等は有効か？

その際、手袋の着用の必要性や使用済み雑巾はどのようにするのが適正か？

- A. ピューラックスとハイターは、次亜塩素酸ナトリウムなので病院でも使用しています。濃度に注意して使用していただければよい。劣化しますが。手袋は、自分の手が荒れるのを防ぐために使う。使用後の雑巾は、洗って干して使用していただければよい。

○チャット質問(部屋にて)

清掃係が清掃する際の注意点と客室係が感染しないための注意点を教えてください。

- A. 1人でお部屋のお掃除をする際は、マスクをしなくてもよいが、どこに行ってもマスクをする。清掃後、しっかり手を洗えばよい。1人で掃除するより、職員同士で掃除したり、食事をすることで感染リスクが上がる可能性があるため、そちらの対策をしっかりする。

【女将】

テレビで換気に扇風機が有効と見たが本当か？

- A. 効果はない。この場合の換気というのは、外気と内気の空気の入れ替えということですが、窓を開けて空気が入れ替わらなければ換気にはならない。扇風機には中の空気を攪拌する効果はあるが、内気と外気を入れ替えることはできないので、扇風機自体が感染対策上の換気の役には立っていない。

【第2部】

2階：宴会食事会場

○チャット質問

真ん中にパーテーションと置くだけでは、テーブル同士の感染は防げないのでは？

- A. 横を向いて食べると強制することは、できないので・・・プライバシー空間を作るという意味で、テーブルとテーブルの間に衝立を置く。衝立の効果は空間次第。パーテーションを置いても室内が狭ければウイルスは広がる。

2階：個室宴会場

個室の狭い空間で2家族が食事をして、衝立があっても、窓を全開にして空気の通り道が

ない限りは、衝立の意味はない。

個室は、1家族1グループで使用の場合は問題ない。

～館内終了～

【佐藤】：

今回、ご質問を受けた中でご理解いただけなかった部分もあるかと思いますが、そういったものに関しましては、場所は変わりますが8月4日、11日の残り2回のセミナーにて三河先生よりご指導をいただく予定です。

その際にご質問をいただき、回答をしていただくことは可能だそうです。

尚、今現在で完結しておきたいご質問は、ご遠慮なくチャットでご質問ください。

館内の電波状況につきましては、事前に確認させていただきましたが、途中で不備がありましたことお詫び申し上げます。

【最終チャット質問】

- クラフト体験等でお客様と密に接する機会が多いのですが、その際注意すべき点をお教えてください。また、眼鏡着用した上でした上でフェイスシールドをすると、野外での活動の際、汗や、曇り等で前が見えなくなってきてしまいます。それでも命を守るためにフェイスシールドは必須でしょうか。

- A. クラフト体験と似たような環境が、学校でいうと理科室、音楽室とかが似たような状況かなと思う。
まず、一番最初にすべきことは、クラフト体験やこういった場面に入る人の体調チェックをしたほうがよい。
それで、体調不良の人をはじく。
次に作業をする際にみんなで話し合いをしながらおこなうが、可能であれば衝立やアクリル板などを置いて空間を遮る、あるいは人数を減らして時間を空ける。
時間と空間の分離をできるだけ行う。
それ以外は、あまり効果ない。
フェイスシールドですが、野外と屋内では少し異なる。
屋外は、オープンスペースなのでマスク着用で近距離で長い時間話していない限りは感染のリスクは低い。
屋外にいながらフェイスシールドをしなければならない場面はそんなにない。
何をするか次第ですが、できればマスクをして近距離で長時間話をしないようにすれば、屋外での活動でフェイスシールドは必要がないと思います。

○ 連日コロナのニュースの中でいっていましたが、感染者がマスクをしていて、感染していない人がマスクをしていない場合、感染のリスクは何パーセントですか？

A. パーセンテージではなかなかことえられない。

マスクをするということは、飛沫感染を防ぐので感染者がマスクをしているほうがリスクは下がります。

この場合、逆のパターンよりかは、感染のリスクは下がります。

体調不良の方がマスクをするのは、咳エチケットとなるので大切なこと。

○ 飛沫感染防止のためのマスクをつけるのが難しいお客様(幼児、子供)からの感染を防ぐ(もしくは他社からの感染を防ぐ)対策について、何かアドバイスがあればよろしくお願ひいたします。

A. まず、幼児・子供はコロナウイルス感染症に罹るリスクは非常に低いです。

まれに感染していても症状が、軽く済みます。

子供たちがマスクをしなきゃいけない・・・あるいは幼児からうつるリスクは極めて低いと思ってください。

この人たちにマスクを強要する必要はない。

あまり気にしなくて良いというのは、言い過ぎだが・・・子供たちからうつるのは、家族など、長い時間一緒にいなければなかなかうつることはないと思う。

○ 感染している人がマスクをせず、感染している人がマスクをしている場合の感染リスクは何パーセントですか？両者、マスクをしている場合は何パーセントですか？

両者、マスクをしていて2メートル離れている場合は何パーセントですか？

また、その場合でも布マスクでも大丈夫でしょうか？

やはり不織布のマスクでないとだめでしょうか？

A. 何パーセントかは、お答えできない。

当然、感染している人がマスクをせず、そうでない人はしているのでは。感染リスクが上がり、感染している人がマスクをして、そうでない人がしていないのでは、次に低い。感染している人がノーマスクの場合は、相手がマスクをしても感染させている可能性が高い。

マスクに関しては飛沫を防ぐ効果が高いのは、不織布のマスクです。

私たち病院の職員は、すべてそのマスクを使用していて、ウレタンや布マスクは使用しません。

安全対策上は、不織布のマスクがベスト。

もし、可能であれば、旅館やホテルで使用するのは不織布のマスクが良い。

布とウレタンは、おすすめしません。防げるというデータがあまりない。

- お客様への感染も心配ですが、従業員への感染も同じくらい心配です。旅館ホテルの業務の中で感染リスクが高いと思われる職種は下記のうちどれでしょうか？

- ① レストラン・宴会サービススタッフ ② 客室清掃係 ③ 厨房スタッフ
④ 内勤（デスクワーク中心）スタッフ ⑤ 施設管理メンテナンススタッフ
⑥ フロントスタッフ コンシェルジュ

お客様への感染も心配ですが、従業員への感染も同じくらい心配です。

- A. 状況次第ですが、私の中では、従業員同士で移す可能性が高いと思っております。

ミーティング、事務室、みんなで食事をする休憩所があれば、そこが1番危険。

おそらく④の事務スタッフの感染が1番高いと思います。

狭い空間に長い時間一緒にいるので。

次が①たくさんの人と同じ時間にいるから。

②、③、⑤の可能性は低い。

- 緊急時の避難・待機場所として宿泊施設を提供した場合、客室を利用できず、大広間などで避難していただく際の注意点・感染症対策はどのようにすればよいですか？

- A. 大災害時の公民館などの避難所の対策と一緒にしよう。

まず、各家族同士で使用する際は、パーテーションを置いてあげると良い。

必ず、トイレが共用となるので、コロナだけでなくノロも同じで、避難所と言ったらノロ・・・冬は特に・・・

トイレの手洗い場に水が出て石鹸で手が洗える環境にしておくことと、便座などたくさん触れるところは、適宜、次亜塩素酸ナトリウムで消毒をするということ。

共有スペースを見つけて、しっかり消毒することが必要。

- やまなしグリーンゾーン認証申請書の客室備品の、客室のコップ、スリッパの対策に使い捨てのものを導入 とあるのですが、必要でしょうか？

- A. 立場上、やらないとならないとお伝えするが・・・

コップは、中性洗剤で洗えば良いですし、スリッパものちに拭けばよいと思っている。

ただ、グリーンゾーン認証の申請書にそのように記載があれば、そのようにするしかないのかなと思う。

○ サウナは、感染リスクが高いのでしょうか？

A. わかりません。

サウナで感染症のクラスターが発生したという事例の報告はあまり、聞いたことがありません。

ただ、狭い空間で密であり、人がたくさんいるという意味では危険化もしれません。

サウナは高温多湿なので、ウイルスの活性は抑えられる気がします。

感染リスクが高いかわかりませんが、密な環境であるということは間違いない。

○ 様々な宿のお座敷に出張する芸人ですが、舞台から客席に飛沫が拡散しないよう、持ち運びできる仕切りを自前で用意します。天井から吊るすビニールや床に置くアクリル板などを作成するとき、感染拡大を防ぐ点から、どのような形状や大きさで作成すればよろしいかご指導ください。また、宴会場のマイクは不特定多数の方が使いますが、使用前後に消毒する際に、どのような成分のもので消毒すればよいですか？(マイクは精密機械ですので水に弱いです) よろしくお願いします。

A. お客さんとの距離は近いほうがよいのであれば、対策をとるのはよいが、広い空間でアクリル板は無理でしょう。

形状等は場所により、異なると思います。

1番良さそうなのは、透明なビニールを吊るすのが良いと思う。

それで見にくいのであれば、ある程度距離をとっていただく。

舞台の上の皆さんが飛沫を飛ばすことを考えるよりは、宴会にきているたくさんの方がノーマスクでいることのほうがリスクは高い。

マイクは、アルコール消毒で良いのではないか。水分ではなく揮発性ですので。

18:11～

【佐藤】:

三河先生ありがとうございました。

以上を持ちまして、ご質問の受付を終了させていただきます。

以上